



十三歳が撮った蘭越

撮影・文 渡辺 晴喜

13歳の晴喜が、
カメラを片手に
町内を歩きまわり、
気にいった風景を撮影した
わりとどうでもいい
ミニ写真集です。
撮影に使用したカメラは、
DIGITAL HARINEZUMI 2
です。



撮影者

渡辺晴喜

13歳

蘭越中学校1年



これは、妹です。
これ、何してるんだろう。
林の中に、木の実でもある
と思ったのかな。
小学1年生の頃は富岡に住
んでいたから、
自転車でこの辺を全速力で
走った。
写真の木、でか！
妹、ちっちゃ！



これは、役場ですね。
このオブジェにどんな意味があるのかわかりません。
この写真の空の感じが、オブジェを中心に広がっている気がします。
蘭越町役場は、ちょっと真面目な場所のイメージがあります。



蘭越八幡神社。

小学生の時、星の子子ども
会で、友だちと肝試しに行
きました。

今、思い返すと、肝試し中
に何かが出てきても、おか
しくなかったかも。

写真は、真ん中にある狛犬
がいい。



この写真はどこだったっけ
かな。
うちのそばの、その辺で撮
った気が。
ん————。
なんか、家と除雪が蘭越っ
ぽいと思います。



えーと。

これもどこだっけな。

あ、そうだ！豊国橋の上の
方だ。

蘭越町の風景を撮ろうと思
って失敗しました。

雪と山のコントラストをう
まく撮りたかった。



雪除けシェルターの間から、
富岡の森を撮りました。
なんか、映画のシネスコミ
たいだなあ。
自分のイメージだと、雪が
全面的に「バツ」と広がる
感じだったんだけど、
撮ったら、ちょっと違った
なあ。



前の写真の雪除けシェルターを引きで撮りました。



水路？

橋？

「ふれあいの郷とみおか」

の看板？

近くまで行ったけど、結局、
なんだかわかりませんでした。

写真は、木が、2、3本立
っている感じがよかった。



本当はダメだと思っただけ
ど、
この写真は、ヤグラに昇っ
て撮りました。
富岡のセンターの近くに鐘
があったから、なんか、珍
しいなと思って撮りました。
昇るときにヤグラがこわれ
ないかと、こわかった。



なんか、広島の実爆ドーム
みたいだったので、撮りま
した。

富岡のヤグラの向かいにあ
りました。

近くで見たら、あまり原爆
ドームには、似ていません
でした。



豊国橋から見た尻別川です
ね。
何年か前に増水して、すご
いことになったなあ。
たしか2年前。
写真の奥に、友だちの家が
ある。

晴喜が撮った蘭越

2014年3月1日 第1刷発行

著者 渡辺晴喜

発行人 渡辺 豪

出版 らんこし作家デビュー・プロジェクト

© Haruki Watanabe 2014

